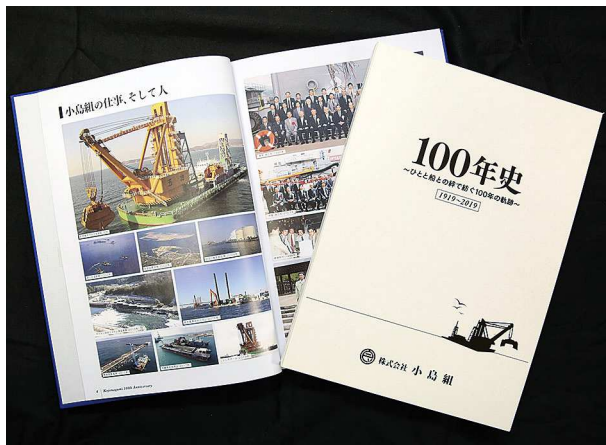


ひとと船の絆で紡ぐ軌跡 小島組100年史発刊

小島組(名古屋市港区、小島徳明社長)が創業100周年を記念し、『100年史～ひとと船の絆で紡ぐ100年の軌跡』＝写真＝を発刊した。1919～2019年の歩みを写真とともに紹介。中堅・若手技術者や女性社員らが考えるこれからの姿にも焦点を当て編集した。

同社は海洋土木工事を中心に業績を伸ばし、社会に貢献してきた。2本スパッドによるアンカーレスグラブ浚渫船、重錘式グラブ昇降システムなどの画期的な新技術を次々に開発。世界最大のグラブ浚渫船としてギネスに認定された「五祥」をはじめ、多くの作業船を保有し、発祥の地である愛知県から全国、世界に活躍



困難に挑み社会に貢献

の場を広げている。

100年の歩みでは大正、昭和、平成という激動の時代を乗り越えてきた会社の軌跡を、社会の動きとともに振り返っている。作業船の開発秘話も紹介。将来に向けて働き方改革などへの対応、会社の将来像などを語る中堅・若手技術者、女性社員の座談会、各部署と関連会社の紹介、海外展開にページを割いた。

巻頭で小島社長は「たゆまざる自社技術の開発精神をもって、近い将来『世界一の浚渫技術を持つ企業』と呼ばれるよう、社員一丸となって努力していく。さらなる100年もあえて困難に挑み、小島組にしかできないことを実現し、社会に貢献していく」とのメッセージを発信している。